

ソフトボールルール ここが変わりました！！

取り巻く環境の変化 ルール編

野球やソフトボールは世界に普及させるのが難しいとされています。理由は、考えてみれば当たり前のことで、例えば、サッカーと比べるとのわかりやすいかと思えます。サッカーは広大な土地とボールがあれば行うことができます。しかし、野球・ソフトボールはどうでしょう？バットやボール、グローブまでを必要とし、ただ広いだけの土地でできるスポーツとは言えません。また、時間制限が具体的に決定されているわけでもなく、非常に行いにくいスポーツです。

そこで注目したのが、ルールの変更です。いかにして時間を短縮できるか、ここ 10 年で様々な新しいルールができました。まずは、それを紹介していきます。

(1) テンポラリーランナー (TEMPORARY RUNNER)

その名の通り、「一時的な走者」なのですが、これは捕手が塁上の走者となって二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりに走者となる選手のことで、塁上の走者以外で、打順が 1 番最後に回ってくる選手が代わりになることができます（捕手はベンチに戻ったとされません）。元々、捕手のプロテクター等をつけるための時間短縮ルールでしたが、これは攻撃側のチームが選択できるので、戦略の幅が大きく広がりました（2015 年）。

(2) 故意四球 (INTENTIONAL BASE ON BALLS)

これは、守備側のチームが、投球せずに故意に打者を一塁に歩かせるために、投手、捕手、あるいは監督が、球審にその旨を通告することです。敬遠がボールを投げることなく行うことができるようになりました。（どんなカウントでも通告できるので、球数は四球を与えるのに必要な投球数がカウントされます。（2013 年）

(3) 20 秒ルール

日本女子ソフトボールリーグ 1 部では、各会場に専用の 20 秒計が設置されており、投手が球を受けるか球審が“プレイ”を宣告して 20 秒以内に次の投球をしなければなりません。世界選手権大会等と同じ形で試合のスピードアップを目指しています。いずれ大学生にも適用される時がくるかもしれませんね…。

(4) その他の時間短縮ルール

「打者は、投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席内に片足を置いておかなければならない。」「打者は、試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない」という 2 つのルールがあります。この 2 つのルールは国際ルールでは定着しており、今後の国際ルール改定で変更がなければ、「完全実施」を目指す方針のようです。私達学生も、審判の方から注意を受けることがあります。「完全実施」になる前に、体に染みつかせておかなければなりません。

他にも時間短縮とは別に生まれた新ルールがあります。以下に紹介していきます。

(1) 投球時のツーステップ

いままで投手は、軸足を引きずったまま投球する（ワンステップ）ルールでした。しかし、投手板から蹴りだして、一連の動作であれば、跳んだり（ジャンピング投法）、ステップしたり（ツーステップ投法）して投球して良い、つまり、リーピングという動作が合法的な投球動作として認められることとなりました。この改定のおかげで投手は、より助走が付き、速い投球が可能になり、距離感も近くなり体感速度が上がりました。しかし、新しい投法ではバランスをとるのが難しく、十分な筋力が必要なため、ウインドミルの奥深さが増したと言えるでしょう！（2012年）

(2) 飛びすぎバットの使用禁止（革ソフトのみ）

現代技術は素晴らしいもので、年々新しいバットが開発され、より良いものが店頭に並びます。そういった時代がずっと続くわけもなく、ついに、特に高反発だった革ソフトに対し、バットに規制がかかることになりました。では、どんなバットが使われるようになったのでしょうか？
革ソフトで使用できるのは写真の通り、「100 (JSA100)」の印字が入ったバットのみとなりました。使ってみると規制前のバットより飛びにくく、ホームランの数も減ったように思われました。（2016年）



↑絶大の人気を誇った「AX4」（新規制では×モデル）
ゴムソフトでは未だに使われています。



「100」の印字がされた規制バットです。→

しかし、使用に慣れてくるとホームランバッターはやはり打ちます！つまりバットのせいではないということですね…。後輩たちはまだまだ練習が足りないということです！バットが変わったからボールが飛ばない？そんな言い訳は通じませんよ（笑）。さあ、この新バットで手の皮がむけるまで、どんどん打ち込んでいきましょう…！

(3) 使用球がイエローボールへ

OB 皆さんの多くは使用する革ボールとして、白ボールを使用していたと思います。しかし、2002 年から国際大会では、黄色に赤ステッチ(革の部分が黄色で縫い目の部分が赤色)のイエローボールを使用するようになりました！2009 年から日本男子ソフトボール東日本・西日本リーグでイエローボールが使用され、2010 年から男女の日本リーグだけでなく、革ボールを使用する全ての全日本大会でイエローボールが使用されています！



過去に白ボールからイエローボール変わったことによって、ボールの見えやすさに影響を与え、パフォーマンスに影響が出るのではないか、という実験が行われました。結果はどちらのボールでも打撃成績が変わることはなく…。ただ、イエローボールのほうがプレイしやすいと当時のプレイヤーには好まれており、精神面に影響を与えている可能性があると考えられています。OB の皆さんもイエローボールでのソフトボールを楽しんでください！

ちなみに今までの白ボールはティーバッティング練習で使用しています。道具を無駄にしないところは理科大学ソフトボール部の良いところですね！

↓白ボールでティーをする部員



↓イエローボールでロングティーをする部員 (岡山インカレ)



このように多くのルールの変化があり、観戦すると新しい発見もあると思います。ぜひグラウンドに来ていただき、現役へのご声援よろしくお願いたします！！